

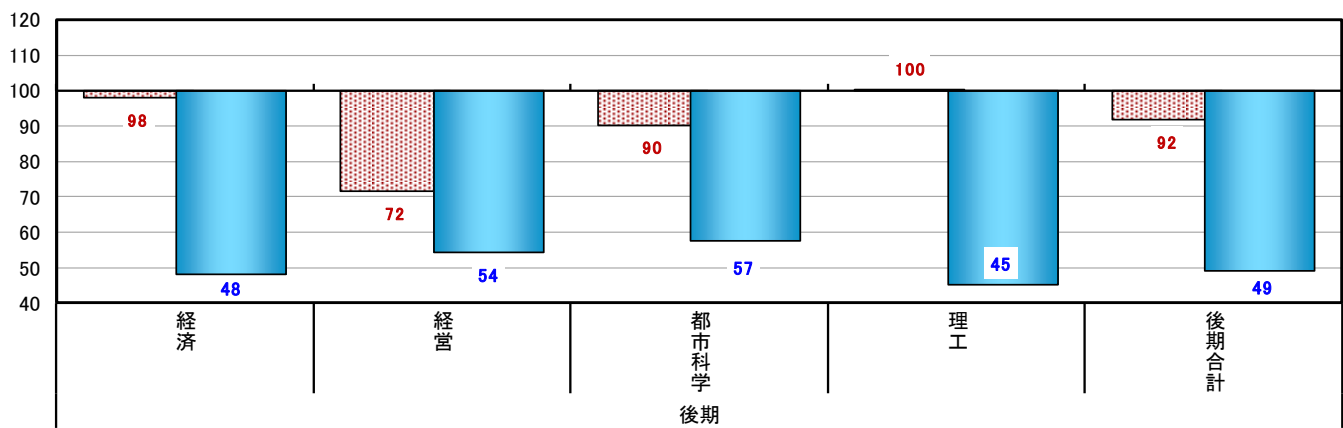
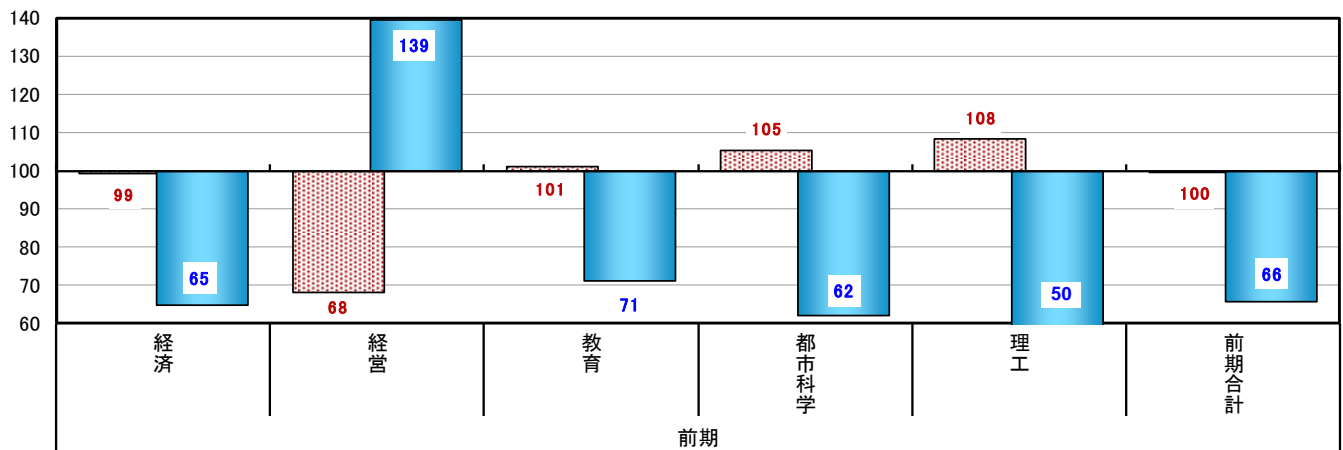
2021 年度入試状況分析【国公立大】

横浜国立大：個別試験実施見送りの影響で、大幅減少

前期：-967人 後期：-2,425人

※前年度の志願者数を100とする指数

■ 2020年度/2019年度 ■ 2021年度/2020年度



入試変更点

コロナ禍による変更：全学部で一般選抜個別試験実施を見送り、共通テストの成績により選抜
 ただし、教育学部では面接や実技等に相当する提出物を求める
 課程・コース・領域改組：教育…学校教員養成課程／人間形成コース、教科教育コース、特別支援教育コース
 →学校教員養成課程／言語・文化・社会系教育コース、自然・生活系教育コース、
 芸術・身体・発達支援系教育コース(音楽・美術・保健体育・心理学専門領域、
 特別支援教育専門領域)
 募集人員：経済…〈前〉125人→(一般)125人(DSEP)5人(LBEEP)10人、〈後〉90人→(一般)75人、(DSEP)5人
 経営…〈前〉128人→(一般)128人(DSEP)7人、〈後〉98人→(一般)78人、(DSEP)3人
 都市科学(都市社会共生)…〈後〉20人→12人
 都市科学(建築)…〈前〉41人→40人、〈後〉20人→19人
 理工(化学・生命科／化学EP・化学応用EP)…〈前〉75人→71人、〈後〉60人→56人
 共通テスト：経済〈前〉…国+歴公2+数2+外+(理2or理基2) ※歴公：世Aor世Bor日Aor日Bor地理Aor地理Bor倫政
 →国+歴公2+数2+外+(理or理基2) ※歴公：世Bor日Bor地理Bor倫政 ※地歴A科目除外
 経済〈後〉…国+歴公2+数2+外+(理2or理基2) ※歴公：世Aor世Bor日Aor日Bor地理Aor地理Bor倫政
 →国+歴公+数2+外+(理or理基2) ※歴公：世Bor日Bor地理Bor倫政 ※地歴A科目除外

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、コロナ禍の影響を考慮して、個別試験実施を見送り、共通テストの成績により選抜(ただし、教育では面接や実技等に相当する提出物を求める)に変更したため、合格目標ラインが見極めにくくなったこと、共通テスト失敗し個別試験での逆転を狙う層を失ったことで、前期・後期とも大幅減少となった。日程別では、前期は967人(66)の大幅減少、後期は2,425人(49)の半減以下で、いずれも4年連続減少。

<前期日程>

- 経済(65)**は、大幅減少で3年連続減少。募集人員(前年度募集人員対比指数112)が増加したことも加わって、志願倍率は4.3倍→2.5倍にダウン。新設の(DSEP)の志願倍率は3.4倍、(LBEEP)の志願倍率は2.3倍で、学部全体の志願倍率を(DSEP)は上回ったが、(LBEEP)は下回った。
- 経営(139)**は、前年度も個別試験の実施はなかったので、コロナ禍による変更の影響はなく、前年度大幅減少の反動もあって大幅増加。前期、後期を通じて全学部の中で、唯一増加した学部となった。ただし、募集人員(前年度募集人員対比指数121)も大幅増加なので、志願倍率は2.1倍→2.4倍のアップに留まった。なお、新設の(DSEP)の志願倍率は2.9倍で学部全体の志願倍率を上回った。

2021 年度入試状況分析【国公立大】

- 教育 (71)** は、課程・コース・領域の大規模な改組が行われたが、学部全体では大幅減少で3年ぶりの減少。ただし、募集人員（前年度募集人員対比指数 75）も大幅減少なので、志願倍率は 2.3 倍→2.2 倍とわずかなダウンに留まった。
- 都市科学 (62)** は、大幅減少で2年ぶりの減少。学科別では、（環境リスク共生）(88)を除き大幅減少で、（建築）(39)は激減。
- 理工 (50)** は、半減で2年ぶりに減少。学科・教育プログラム別では、（機械・材料・海洋系／材料工）(100)は前年度並だが、他の募集単位はすべて大幅減少。特に、（化学系／化学・化学応用）(36)、（機械・材料・海洋系／材料工）(45)、（数物・電子情報系／情報工）(46)、（機械・材料・海洋系／海洋空間のシステムデザイン）(47)、（数物・電子情報系／物理工）(50)はいずれも半減以下。

<後期日程>

- 経済 (48)** は、半減以下の大幅減少。志願倍率は 12.5 倍→6.8 倍にダウン。
- 経営 (54)** は、2年連続減少、志願倍率は 9.0 倍→5.9 倍にダウン。
- 都市科学 (57)** は、大幅減少で3年連続減少。学科別では、（環境リスク共生）(154)は2年連続大幅増加だが、他の3学科はいずれも大幅減少。特に、（都市基盤）(41)、（建築）(45)は半減以下。
- 理工 (45)** は、半減以下の大幅減少。学科・教育プログラム別では、（数物・電子情報系／数理科学）(61)、（機械・材料・海洋系／材料工）(52)を除いた7つの募集単位はいずれも半減以下、特に（数物・電子情報系／物理工）(34)はほぼ前年度の3分の1の志願者数に留まった。